

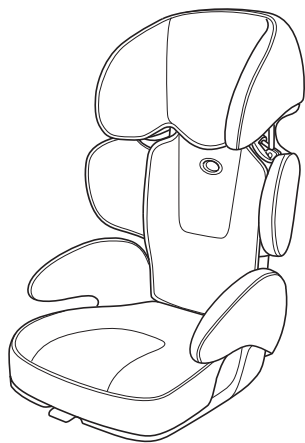
takata312-smartfix junior

取扱説明書

ご使用前に
必ずよくお読みください。
いつでも読めるように、
大切に保管してください。

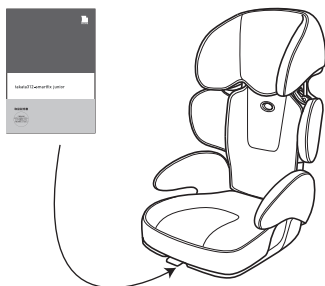
ご使用の前に必ずお読みいただき、取扱説明書に従い、正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように、大切に保管してください。

このジュニアシートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗用装置です。
ジュニアシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。



取扱説明書は、ジュニアシートの座部下のポケットに入れて保管してください。

取扱説明書



当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売をしておりますが、万一リコール等がありました場合、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただきます。つきましては、WEBでの登録もしくは、お客様カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いします。

確認しておきましょう	3
次のものがそろっていますか	3
各部のなまえ	4
必ずお読みください	5
マーク表示について	5
緊急時には	5
お子さまの条件	6
お車への取り付け	7
ご使用上の注意	9
取り付けできるシートベルト	9
取り付けできないシートベルト	10
お子さまを乗せるときは	11
取り付けるときは	12
こんなことにも注意して	13
背もたれの起こしかた、倒しかた	15
背もたれの起こしかた	15
背もたれの倒しかた	16
背もたれと合わせてご使用の場合	17
お車への取り付けかた	17
背もたれの調整のしかた	18
お子さまの座らせかた	19
座面のみでご使用の場合	20
お車への取り付けかた	20
お子さまの座らせかた	21
背もたれと座面の組み付けかた	23
背もたれと座部の組み付け	23
せもたれと座部を取り外す	25
お手入れのしかた	27
カバーの取り外しかた	27
汚れた場合	28
補修部品について	29
保証書	30

確認しておきましょう

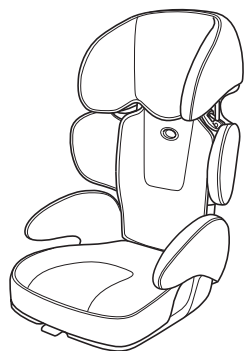
次のものがそろっていますか

ジュニアシートと合わせてご確認ください。

ご使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室(0120-70-5441)までご連絡ください。お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、認可ラベルに記載されている認可ナンバーを必ずお伝えください。(29ページ)

■ジュニアシート本体

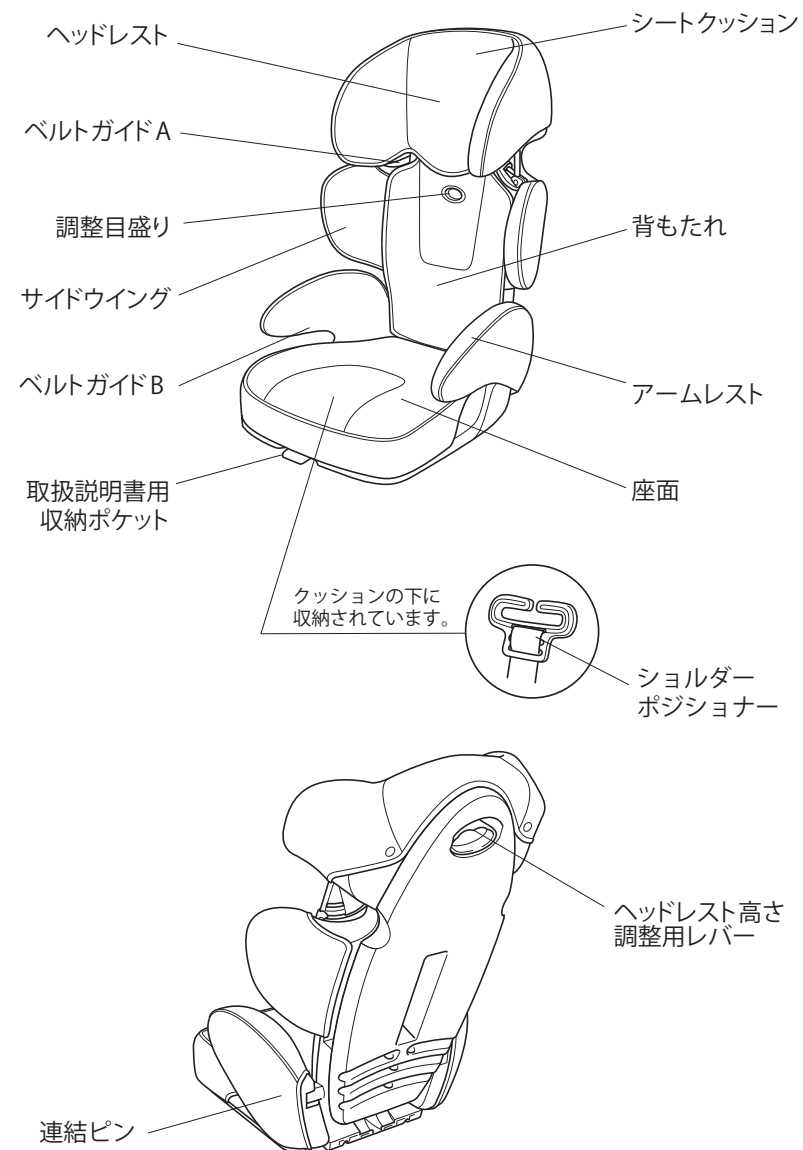


■取扱説明書



各部のなまえ

ジュニアシートと合わせて確認してください。



必ずお読みください

マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用していただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。

これらの記載内容は重要です、しっかりとお読みください。

警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容を示しています。

注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

アドバイス

ジュニアシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

① お車のバックルのボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトを取り外す。



② お子さまを静かにジュニアシートから降ろす。

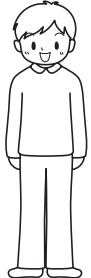


アドバイス

シートベルトが外れない場合は、シートベルトをハサミなどで切断してお子さまを救出してください。

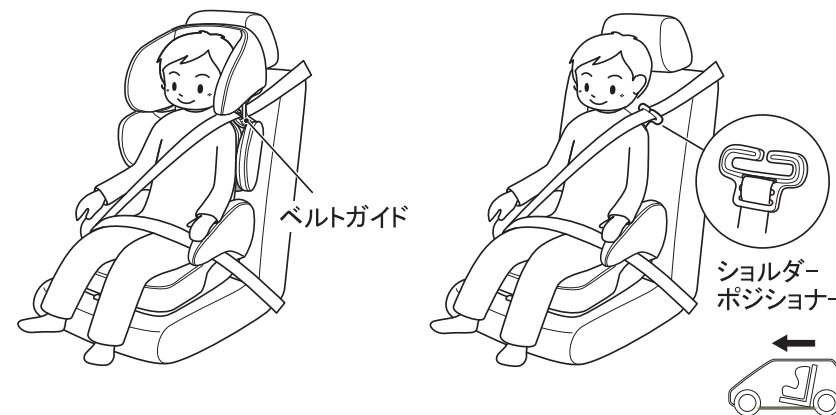
このジュニアシートは、ご使用になるお子さまの条件に合っていることを確認し、正しい取り扱いを行ってください。

体 重	15～36kg
参考年齢	3～12歳ごろ
参考身長	100～150cm



取り付けかた

お車の方向に対し前向きに使用します。

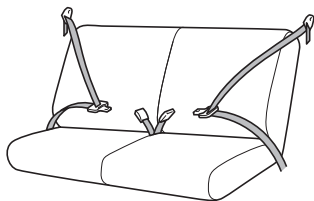


アドバイス

年齢、身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

取り付けできるシート

進行方向に対し前向きで、3 点式シートベルトが付いている座席

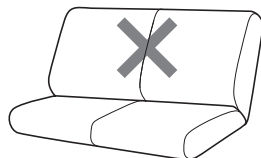


 アドバイス

お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書もあわせてご確認ください。

取り付けできないシート

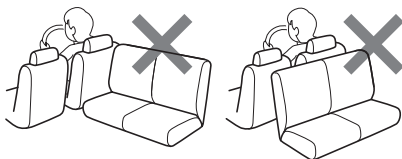
シートベルトが付いていないシート



前方にエアバッグが装備されたシート



横向き・後向きになっているシート



ジュニアシートを取り付けると運転
操作の妨げや、視界の妨げになる
シート

警告

お車のシートが以上のタイプに該当する場合は、ジュニアシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

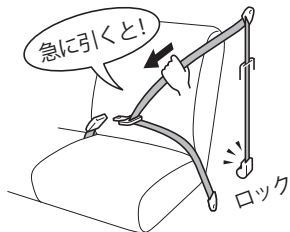
This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

取り付けできるシートベルト

このジュニアシートは、協定規則第16号（ECE R16）または同等の基準で許可された3点式巻き取り装置付きシートベルトを装備したお車にてご使用することができます。

■ELR（緊急ロック式ベルト巻き取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。



■チャイルドシート固定機構付きELRシートベルト

チャイルドシートを固定するための装置が備えられているタイプ。シートベルトとして通常使用するときにはELR機能が働く。



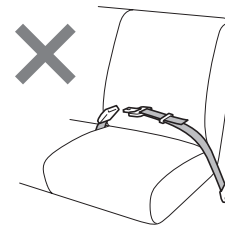
⚠️ アドバイス

お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくはお車の取扱説明書をお読みください。

取り付けできないシートベルト

■2点式シートベルト

肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。



■腰ベルト側に付いたELR（緊急ロック式ベルト巻き取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。

■ALR（自動ロック式ベルト巻き取り装置）付シートベルト

シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引く出せない（巻き戻しは可能）タイプ。

■マニュアル式シートベルト

シートベルトの巻き取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

■パッシブシートベルト

シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにすると肩ベルトが自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。ベルトをはずすときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。

■NLR（非ロック式ベルト巻き取り装置）付シートベルト

シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻き取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ。

■その他のシートベルト

P.9「取り付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト。

⚠️ 警告

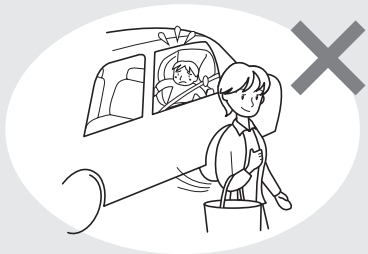
お車のシートベルトが以上のタイプに該当する場合は、ジュニアシートを取り付けることができません。

取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

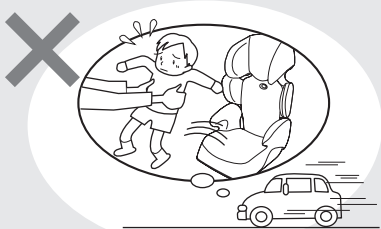
お子さまを乗せるときは

⚠ 警告

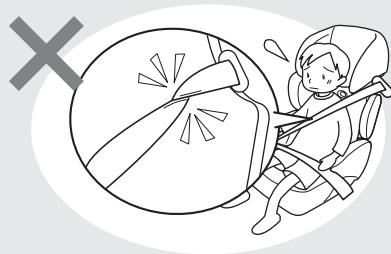
お子さまをジュニアシートに座らせたままお車から離れないでください。不慮の事故につながるおそれがあります。



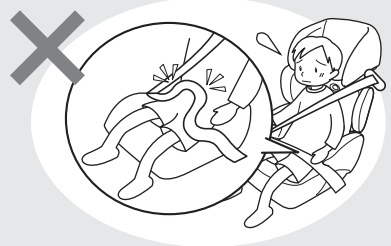
走行中は、お子さまをジュニアシートから乗り降りさせないでください。



ベルトは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。



腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等の時に圧迫されるおそれがあります。



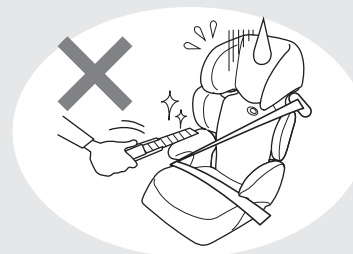
取り付けるときは

⚠ 警告

拘束性能に影響を与えるおそれがあるため、柔軟材料(専用カバー類)を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



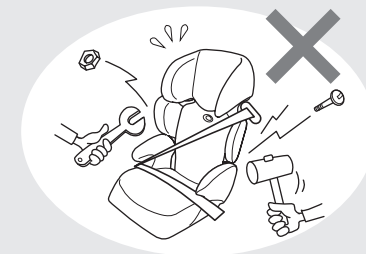
ジュニアシートを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。ジュニアシートが正常な働きをしない場合があります。



肩ベルトが首にかかっていると、事故等の時に圧迫されるおそれがあります。首にかからないよう、肩ベルトの高さを調整してください。



取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



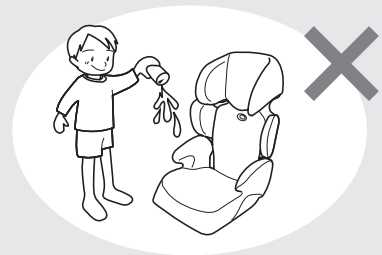
こんなことにも注意して

⚠ 警告

事故等でジュニアシートが強い衝撃を受けた場合には、目に見えない破損があるおそれが強いので、新品に交換してください。



ジュニアシートには、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

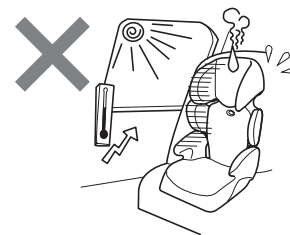


ジュニアシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。

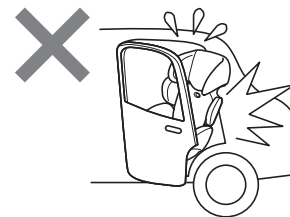


⚠ 注意

ジュニアシートに日光が当たりますと、熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。



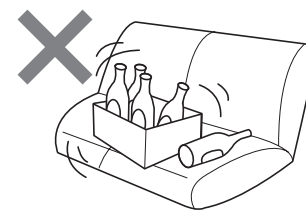
可動式シートまたは車両のドアにジュニアシートの剛性部分(プラスチック部分等)が挟まれないようにしてジュニアシートを取り付けてください。



ジュニアシートにお子さまを乗せない時でも、安全のため車のシートベルトで必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にジュニアシートが移動して、ケガなどをするおそれがあります。



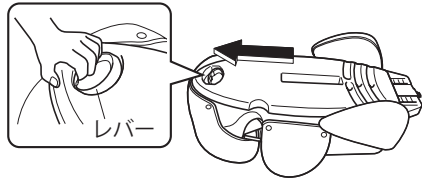
事故発生時、突起物や重量物等乗員に傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一の時、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。



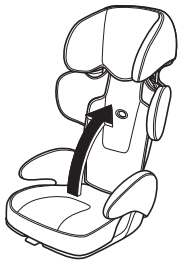
背もたれの起こしかた、倒しかた

背もたれの起こしかた

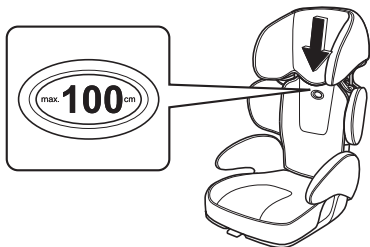
- ① 背もたれ背面のレバーを握り、ヘッドレストを引き上げ、最大位置まで伸ばします。



- ② レバーを握ったまま、背もたれと座面が直角になるまで背もたれを起こします。

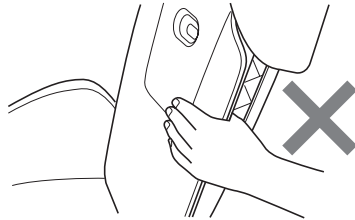


- ③ 調整目盛りのマークが  以外になるまでヘッドレストを下げます。



⚠ 注意

回転部分やスライド部分に指や物などを挟まないようにしてください。

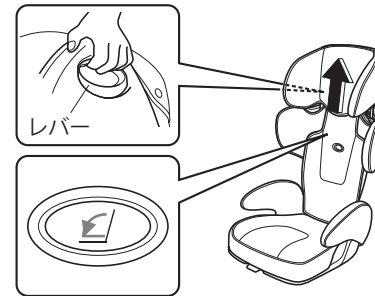


🔥 アドバイス

作業はジュニアシートが安定する場所で行ってください。

背もたれの倒しかた

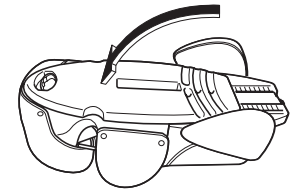
- ① 背もたれ背面のレバーを握り、調整目盛りのマークが  になるまでヘッドレストを引き上げます。



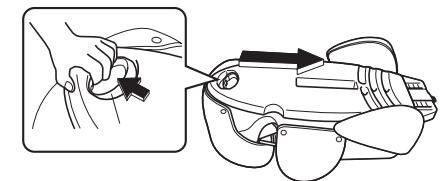
🔥 アドバイス

ヘッドレストを引き上げる際、片方の手で座面が動かないように押さえます。

- ② レバーを握ったまま、背もたれを倒します。

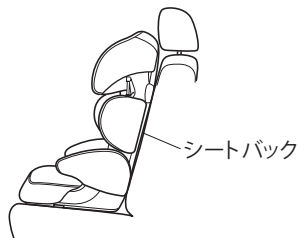


- ③ 背もたれ背面のレバーを握り、ヘッドレストを下げます。

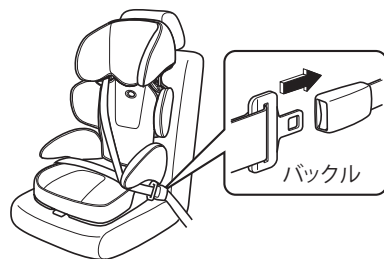


お車への取り付けかた

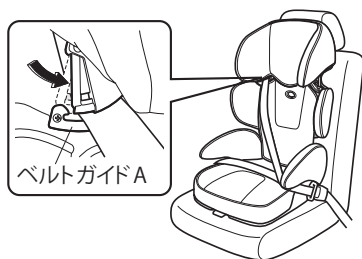
- ① ジュニアシートをお車のシートバックに接するよう座席におきます。



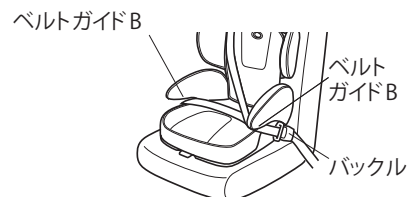
- ② シートベルトをジュニアシートにかけ、シートベルトを確実にロックします。



- ③ 肩側のシートベルトをヘッドレストとサイドウイングの間にあるベルトガイドAに通します。



- ④ 腰側のシートベルトと肩側のシートベルト(バックル側)をベルトガイドBに通します。



⚠ 警告

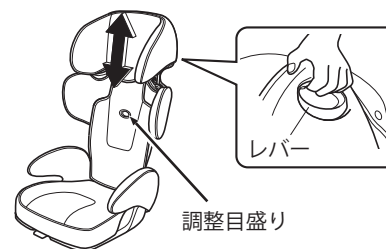
エアバッグの付いた座席では使用しないでください。事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

ジュニアシートにお子さまが乗っていない場合でもシートベルトはロックしておいてください。ロックしておかないと、衝突や急ブレーキの際にシートが移動して、他の乗員がケガなどをするおそれがあります。

背もたれの調整のしかた

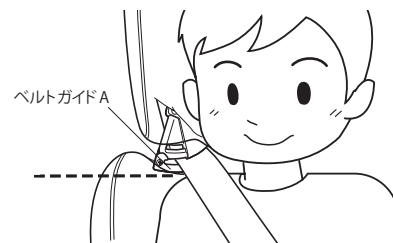
- ① 背もたれ背面のレバーを握り、ヘッドレストを上下させます。背もたれに付いている調整目盛りにおおよその身長が表示されます。



🔥 アドバイス

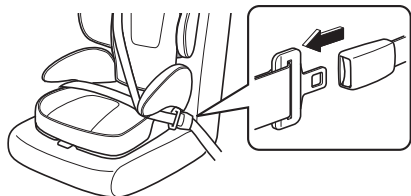
- ・ヘッドレストを引き上げる際、片方の手で座面が動かないように押さえます。
- ・背もたれ部の調整目盛りは、ヘッドレスト高さ調整時の目安で、数値はお子さまのおおよその身長を示します。

- ② ベルトガイドAの下側がお子さまの肩と同じ高さか、肩より高くなる位置に調整してください。



お子さまの座らせかた

- ①シートベルトのロックを解除します。



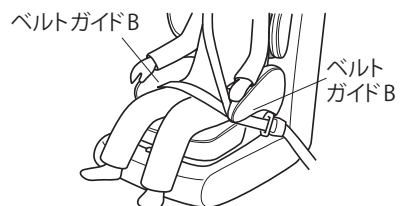
⚠ 注意

肩側のシートベルトはベルトガイドAに通ったままであることを確認してください。

- ②お子さまをジュニアシートに深く座らせ、シートベルトを確実にロックします。

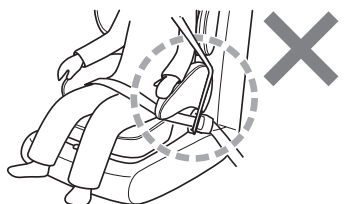


- ③腰側のシートベルトと肩側のシートベルト(バックル側)をベルトガイドBに通します。



- ④お子さまが正しく座れているか、次の事項を確認します。

- ・ベルトは緩みやねじれなくお子さまの体に当たっていること。
- ・腰側のシートベルトがおさまの大腿部の上を通っていること。
- ・肩側のシートベルトがベルトガイドAを通り、お子さまの首にかからず、肩の上を通っていること。



⚠ 警告

シートベルトがおさまに正しく通っていないと、衝突時や急ブレーキの時に、重大な傷害を受けるおそれがあります。

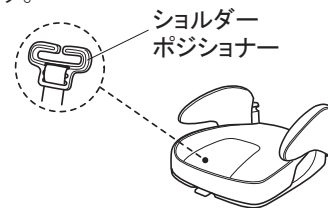
🔥 アドバイス

取り付けに関して不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。

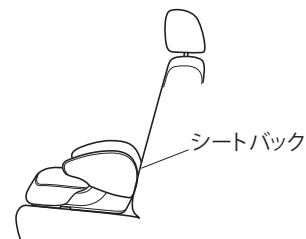
このジュニアシートは座面のみでもご使用いただけますが、できる限り背もたれと合わせてご使用いただくことをお勧めします。

お車への取り付けかた

- ①シートクッションの下に収納されているショルダーポジショナーを取り出します。



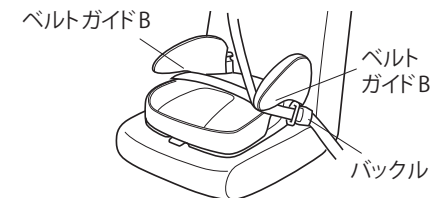
- ②ジュニアシートをお車のシートバックに接するよう座席におきます。



- ③シートベルトをジュニアシートにかけ、シートベルトを確実にロックします。



- ④腰側のシートベルトと肩側のシートベルト(バックル側)をベルトガイドBに通します。



⚠ 警告

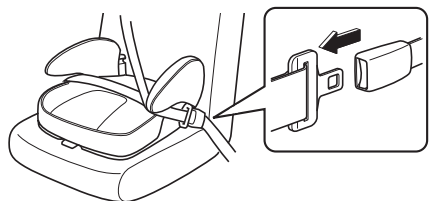
エアバッグの付いた座席では使用しないでください。事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

ジュニアシートにおさまが乗っていない場合でもシートベルトはロックしておいてください。ロックしておかないと、衝突や急ブレーキの際にシートが移動して、他の乗員がケガなどをするおそれがあります。

お子さまの座らせかた

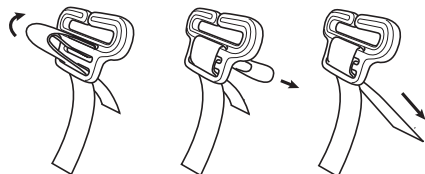
①シートベルトのロックを解除します。



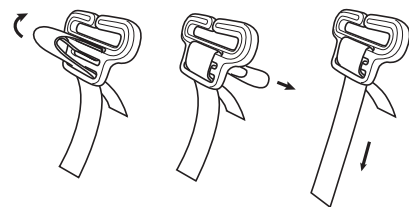
②お子さまをジュニアシートに深く座らせ、ショルダーポジショナーをお子さまの背面から取り出し、肩の高さになるよう調整してください。



ショルダーポジショナーの位置を低く(短く)する場合



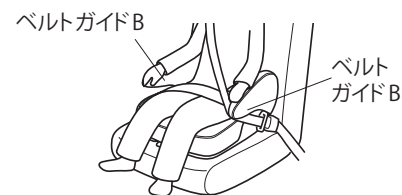
ショルダーポジショナーの位置を高く(長く)する場合



③シートベルトを確実にロックします。

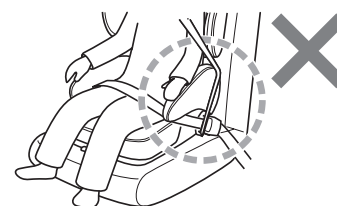


④腰側のシートベルトと肩側のシートベルト(バックル側)をベルトガイドBに通します。



⑤お子さまが正しく座れているか、次の事項を確認します。

- ・ベルトは緩みやねじれなく、お子さまの体にあたっていること。
- ・腰側シートベルトがお子さまの大腿部の上を通っていること。
- ・肩側シートベルトがお子さまの首にからず肩の上を通っていること。



- ・シートベルトがお子さまの首にかかったり、肩から外れないようショルダーポジショナーをお子さまの肩の高さに調整して使用してください。

首にかかる

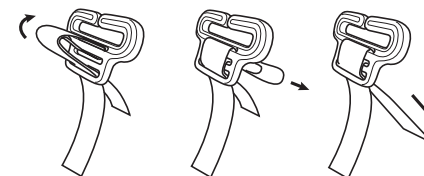


肩から外れる

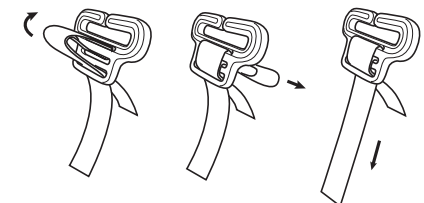


ショルダー
ポジショナー

ショルダーポジショナーの位置を低く(短く)する場合



ショルダーポジショナーの位置を高く(長く)する場合



⚠ 警告

シートベルトがお子さまに正しく通っていないと、衝突時や急ブレーキの時に、重大な傷害を受けるおそれがあります。

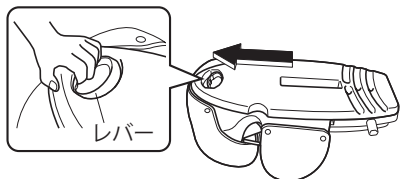
🔥 アドバイス

取り付けに関して不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。

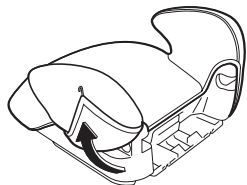
背もたれと座部の組み付け

※梱包時は背もたれと座部が組み付けられています。初めてご使用の際には、下記の手順は必要ありません。

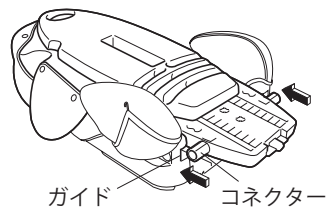
- ① レストを引き上げ、最大位置まで伸ばします。



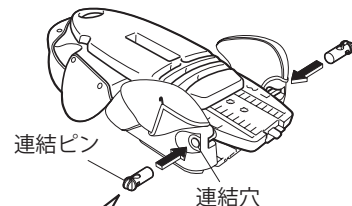
- ② 座面裏側のフックを取り外し、カバーをめくり上げます。
(カバーの取り外しかた → 27ページ)



- ③ 背もたれを座面と水平にし、背もたれ下端の両コネクターを座面のガイドにはめ込みます。



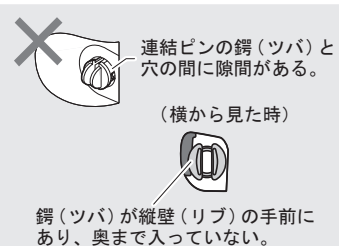
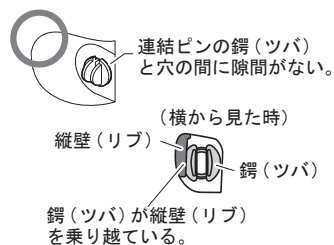
- ④ 座面後方の連結穴に連結ピンを差し込み、背もたれと座面を連結します。



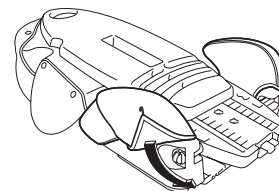
連結ピンには爪が付いており、爪が横を向くようにして差し込んでください。



また連結ピンを差し込む際には、下記に注意し、奥まで押し込んでください。

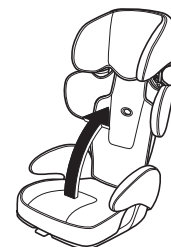


- ⑤ カバーを元に戻します。



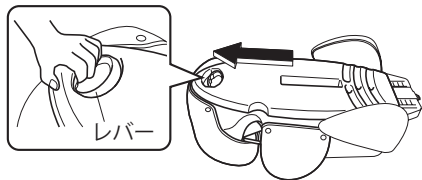
- ⑥ 正しく組み付けられているか、次の事項を確認してください。

- ・ 背もたれを持ち上げ、確実に正しく連結されていること。
- ・ 背もたれが座面に対し直角まで起き上がること。

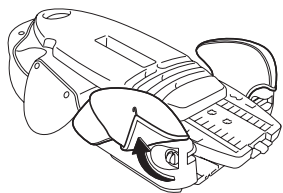


背もたれと座部を取り外す

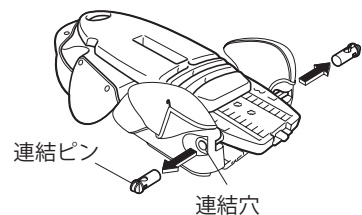
- ① 背もたれを倒した状態で背面のレバーを握り、ヘッドレストを引き、最大位置まで伸ばします。
(背もたれの倒しかた → 16ページ)



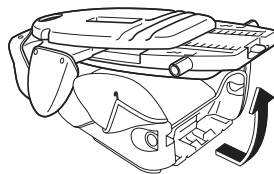
- ② 座面裏側のフックを取り外し、カバーをめくり上げます。
(カバーの取り外しかた → 27ページ)



- ③ 座面後方にあるの連結ピンの頭を握り、連結穴から連結ピンを引き抜きます。



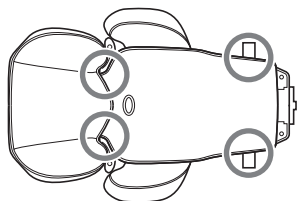
- ④ 背もたれ下端の両コネクターを座面のガイドから外します。



カバーの取り外しかた

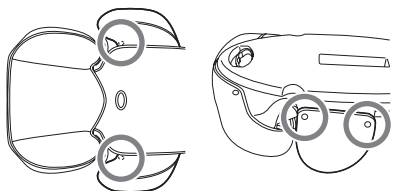
〈背もたれ中央部のカバー〉

- ① 上部両側と下部両側にある4ヶ所の引っ掛けを外す。



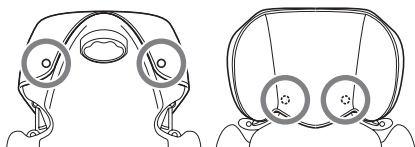
〈サイドウイングのカバー〉

- ② ウイング外側にある2ヶ所のボタンとウイング内側にある1ヶ所のボタンを外す。



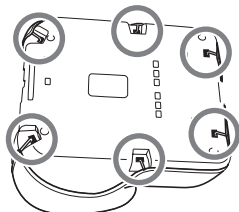
〈ヘッドレストのカバー〉

- ③ 裏側にある2ヶ所のボタンを外し、表面のカバーをめくる。
④ 表面にある2ヶ所のフックを外す

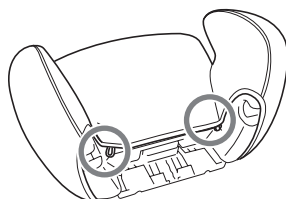


〈座面のカバー〉

- ⑤ 座面の裏面にある6ヶ所のフックを外す。



- ⑥ 座面の表面にある2ヶ所の引っ掛けを取り外す。



汚れた場合

〈カバー類〉

中性洗剤を使用して、手で押し洗いします。



⚠ 注意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

〈本体〉

柔らかい布で乾拭きまたは水拭きしてください。

⚠ 注意

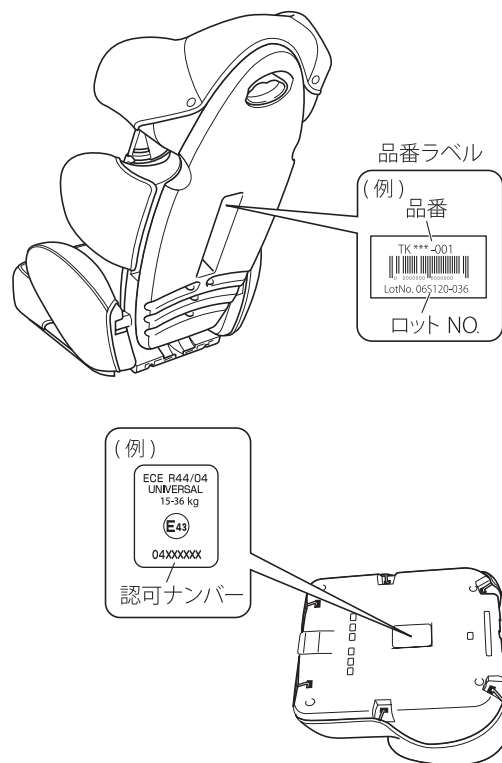
- ・ 洗剤類を使用しないでください。変色の恐れがあります。
- ・ 水拭き後は完全に乾燥させてからご使用ください。

補修部分について

お買い上げの販売店またはお客様相談室(0120-70-5441)まで連絡ください。

お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼っているラベルの品番を必ずお伝えください。

もし、背面ラベルが無い場合には、座面の裏面にあるラベル記載されている認証ナンバーをお伝えください。





タカタ株式会社

シートベルト・エアバッグ・チャイルドシートの専門メーカー

商品についてのお問い合わせ・お客様相談室



フリーダイヤル

0120-70-5441

受付時間:10時～17時／但し、土日、祝祭日は除きます

〒107-8508 東京都港区赤坂2-12-31